

～ アルプラスK4 プラン ～

室外側は アルミ

風雨にさらされる室外側には、
耐候性と強度に優れたアルミ 形材を使用。

室内側は 樹脂

熱伝導率の低い樹脂にすることで、
外気の影響を最小限に抑止。
熱伝導性の向上のみならず、
結露を抑える効果も。

結露の困りごとと解消！

結露でぐっしょり



- ・ 室内側は樹脂！！
- ・ 熱の伝わる力はアルミの
1000分の1！！
- ・ 面が冷えにくいから
結露しにくい

●従来のアルミ サッシ

＜結露の困りごと＞

- ・ カーテンのシミ
- ・ カビ・ダニの発生
- ・ 窓枠の腐食

にっこり！



●アルプラスK4 サッシ

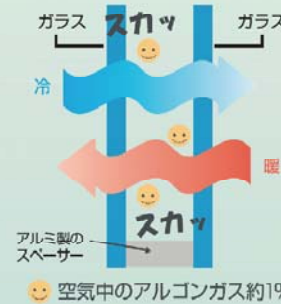
Low-E PLUS は、寒い冬の朝 (0℃) でも 結露に強い窓ガラスです。

一般的な複層ガラス

ガラスとガラスの間に空気層を挟んだ一般的な複層ガラス。
外気温度が0℃以下になると、結露が発生します。



結露は放っておくと、
カビ・ダニの原因に！



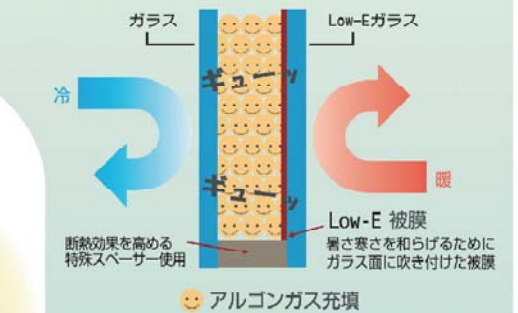
空気中のアルゴンガス約1%

一般的な複層ガラス

一般的な複層ガラスは、2枚のガラスで空気層を挟んでいるので、1枚ガラスに比べると断熱効果の高いガラスです。でも、空気層にはアルゴンガスが1%しか含まれていないので、熱がすり抜けてしまいます。

Low-E PLUS

高断熱・遮熱性能を発揮するLow-Eガラスを使い、さらに、
熱の出入りを抑えるアルゴンガス を注入した複層ガラス。
外気温度が0℃でも結露発生を抑えます。



アルゴンガス充填

アルゴンガスは空気中に含まれている気体で、熱を通しにくい特性を持っています。(無色・無味・無臭・無害)

Low-E PLUS

ガラスに吹き付けたLow-E (特殊金属皮膜) が室内の暖気を外に逃がさず、ガラスの表面温度を下げません。さらに、空気層にアルゴンガスを充填して、熱が出入りするすき間を埋めています。

Which is BEST ?

室内温度25℃、室内湿度60%の時。

結露が発生する温度比較

一枚ガラスは外気温度が14℃、断熱効果のある一般的な複層ガラスも0℃で結露します。Low-Eプラスはなんと、-28℃になるまで結露しません。

※料理や鍋物をしている時など、室外温度の差以外の影響で結露することはあります。

結露って何？

空気中に含まれている水蒸気が冷やされて水滴となり、結露となります。空気中に含まれる水蒸気はわずかな量ですが、いずれ大きな結露になるのです。

窓に結露が発生するとやっかいです。放っておくと住宅に被害をもたらすし、カビ・ダニが発生してアレルギーの原因にもなります。

コップの汗は結露

